

機械器具32 医療用吸引器
一般医療機器 再使用可能な汎用吸引チップ JMDNコード：38749000
ソリューションチップ®

【警告】

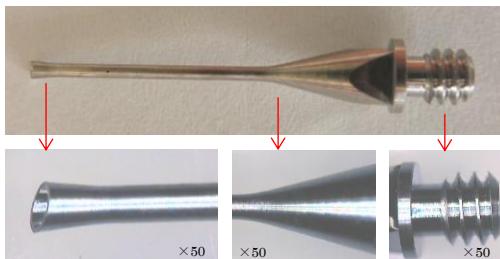
1. 本品は全て未滅菌で供給されるため、初めて使用する際、及び各使用前に必ず洗浄と滅菌を行うこと。
2. 本品の洗浄を行う場合は、手袋等の感染防止のための保護具を着用すること。
3. 使用する洗浄液、消毒液、及び洗浄消毒装置は、各メーカーの添付文書及び取扱説明書に従って使用すること。
4. 本品の洗浄及び滅菌を行う際は、温度が140°Cを超えないようにすること。
5. 本品を次亜塩素酸塩溶液と接触させない。[本品が腐食する恐れがある。]
6. 本品の洗浄は注意して行うこと。特に、パイプ先端および内部は、事前に手作業で予備洗浄を行ってから、自動洗浄処理する必要がある。汚れの除去が確実でない場合は、新しいものを使用すること。
7. クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)に罹患しているあるいは、罹患が疑われる患者への使用。【別の患者や術者に感染する危険性がある】

【禁忌・禁止】

1. 使用目的以外に使用しないこと。
2. 本品の二次的加工をしないこと。

【形状・構造及び原理等】

形状：代表的写真



材料：チタン合金

原理：本品の先端部を対象とする部位にあて、吸引することにより対象物を除去する。

【使用目的、効能又は効果】

本品は、手術又は治療時に吸引器具に接続し、吸引する器具である。

【品目仕様等】

外観：きず、亀裂、汚れのこと。

【操作方法又は使用方法等】

1. 使用前に、必ず洗浄・滅菌する。134°C / 5分の高圧蒸気滅菌条件を推奨する。
2. ソリューションチップを「弊社専用のチップレンチ」を用いて、超音波ハンドピースに固定する。
3. 超音波ハンドピースに、滅菌水入りのチップキャップスリーブを接続し、術前に最適な超音波出力をチューニングする。
4. ソリューションチップの吸引口を吸引ポイントに接触させ、吸引する。

【使用上の注意】

- 装置取扱説明書の点検項目に従って、術前の点検を行うこと。
- 使用前に必ず、ソリューションチップの折れ曲がりや傷などが無いか、外観チェックをすること。（本品が超音波振動時等で、破損した場合、患者や術者への傷害が起きる危険性がある。）
- ソリューションチップをハンドピースに取り付ける際は、チップ先端に負荷が掛らないよう、直ぐに取り付けること。（ソリューションチップを誤って斜めに装着をした場合、破損する危険性がある。）
- 超音波の発信方向によって、使用回数が短くなる場合があるため、術前のチューニングによる点検・確認を行った上で、使用すること。また、術前の超音波チューニングを実施する際、超音波の出力強度に注意すること。（高出力にて実施した場合、破損する可能性がある。）
- 折れ曲がりや傷が確認された場合は、絶対に使用せず、新しいものに交換すること。
- 折れ曲がりや傷に関わらず、繰り返し使用については、品番ST01は10回迄（その他STシリーズは20回迄）とし、規定回数内で交換すること。（ただし繰り返し使用は、性能を保証するものではない。）

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 清潔で良好な乾燥状態を保てる場所で保管する。
2. 滅菌した状態で保管する場合、滅菌有効期限を管理する。

【保守・点検に係る事項】

<洗浄・消毒・滅菌>

1. 汚れが乾燥し落ちにくくなるのを防ぐため、付着した血液・体液・組織・薬品等は直ちに洗浄し、消毒する。
2. 汚染除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、その適正濃度と取扱方法を守る。中性洗剤を推奨する。
3. 超音波洗浄装置・ウォッシャーディスインフェクター等の洗浄装置で洗浄する場合、汚れが落ちやすい状態でバスケット等に収納して処理する。
4. 金属タワシ、クレンザー（磨き粉）等は、器具表面を損傷するので使用を避ける。
5. 仕上げすぎには、精製水・脱イオン水・濾過水等の使用を推奨する。
6. 洗浄後は、腐食防止のために直ちに乾燥する。
7. 滅菌条件は、134°C / 5分の高圧蒸気滅菌条件を推奨する。

<点検>

1. 滅菌前、使用前に汚れ・破損・変形等を点検する。

【包装】

4本／箱

【製造販売業者及び製造業者】

製造販売業者：JMR 株式会社

〒959-0511 新潟県新潟市西蒲区大原 3061

TEL : 0256-77-8808 FAX : 0256-77-8809

E-mail: info@jmr-lab.com